

# コミュニケーション指導実践シート

対象	小学部2年生	教科・領域等	教科別の指導 図画工作
場所	教室	学習形態	集団学習

## 1 児童の実態

自分の思いを2～3語文の言葉で伝えたり、2択の中から好きな方を選んだりすることができる。教員との関わりを好み、自分から積極的に話し掛けている。また、同じクラスの友達に自分から声を掛けて挨拶をする姿も見られる。

## 2 児童の目標

やりとりのルールを理解し、自分から関わる。

## 3 実践

### <指導の手立て>

- ・授業の中で、相手と関わる（触れ合う）機会を設定し、内容を充実させる。
- ・教員が、相手の存在や思いを伝えられるように、声掛け、支援、評価をする。

・絵具を付けたボールを、友達と協力しながら転がすことで、模様をつけ、作品作りをする。

・友達に絵の具を塗ってもらい、足形を押して作品を作る。

・友達の足に絵具を塗る手伝いをし、協力して足形を作る。



## 4 児童の変容（成果：○、課題：△）

○実際に触れ合いながら友達と一緒に活動することで、友達を意識した姿が多く見られた。  
○教員が友達の反応や様子を伝えながら活動することで、順番を待ったり、応援したりできるようになった。  
△様々な教科で、友達との関わり合いを意識した場面設定をしていく必要がある。